

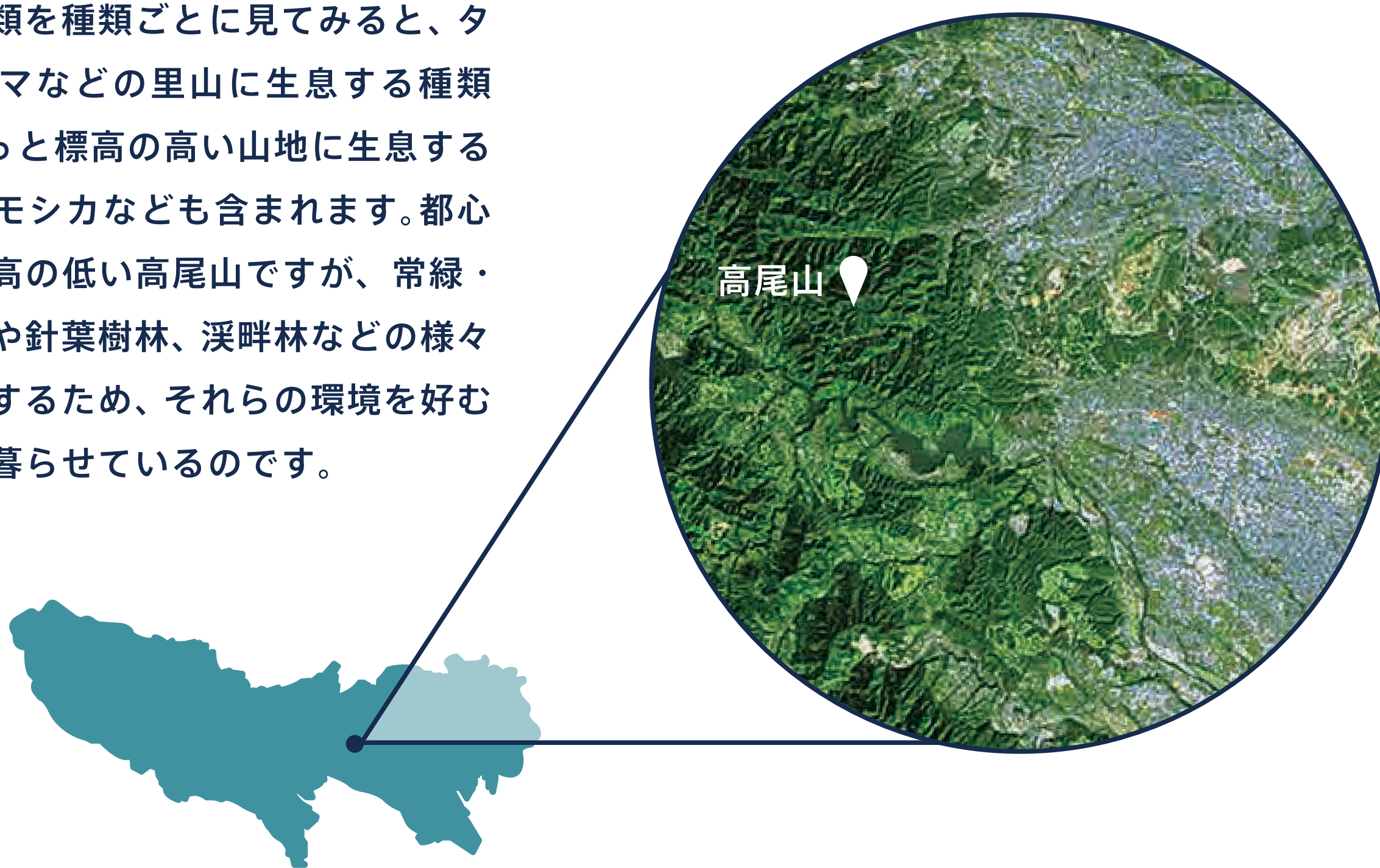
知ってる？

# 高尾山の哺乳類

現在、高尾山には32種類の哺乳類が生息しています。

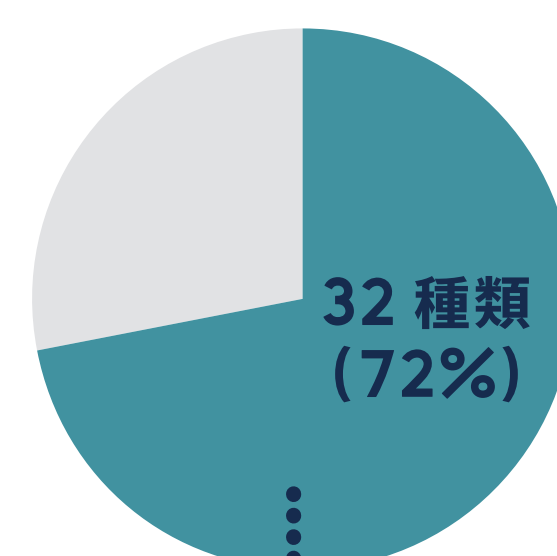
東京都の本土で確認された哺乳類は43種類であるため、  
全体の7割もの哺乳類たちがこの高尾山に暮らしていることになります。

高尾山の哺乳類を種類ごとに見てみると、タヌキやアナグマなどの里山に生息する種類から、本来もっと標高の高い山地に生息するモモンガやカモシカなども含まれます。都心にほど近く標高の低い高尾山ですが、常緑・落葉広葉樹林や針葉樹林、溪畔林などの様々な樹林が存在するため、それらの環境を好む哺乳類たちが暮らしているのです。



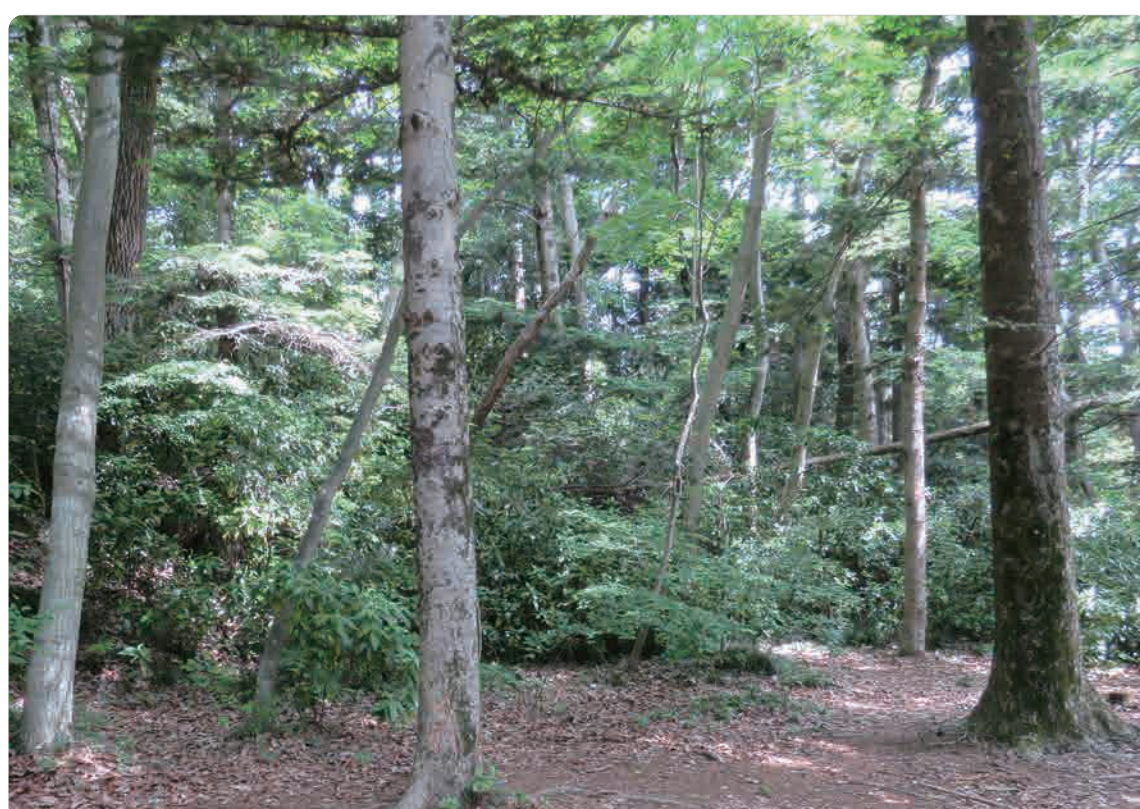
東京都内(本土)の哺乳類

43種



高尾山の哺乳類

ムササビ、タヌキ、  
テン、アナグマ、  
モモンガ、イノシシ、  
カモシカ etc...



広葉樹林



針葉樹林



溪畔林

## フィールドサインとは？

動物がその地域で暮らしていることを知る  
手がかりとなる痕跡を「フィールドサイン」と呼びます。

動物ごとの好きな食べものを示す「食べあと」や「フン」、移動の際に自然のスタンプとして残す「足跡」、樹洞や地下洞といった住み家の玄関である「巣穴」など、沢山の種類があります。夜行性の多い哺乳類は動く姿を観察することが難しいですが、フィールドサインを見つけることができれば、山内で活動する哺乳類たちの暮らしが見えてきます。次項からは哺乳類の種類ごとのフィールドサインをご紹介します。





知ってる？

高尾山の

# 哺乳類とフィールドサイン



## ムササビ

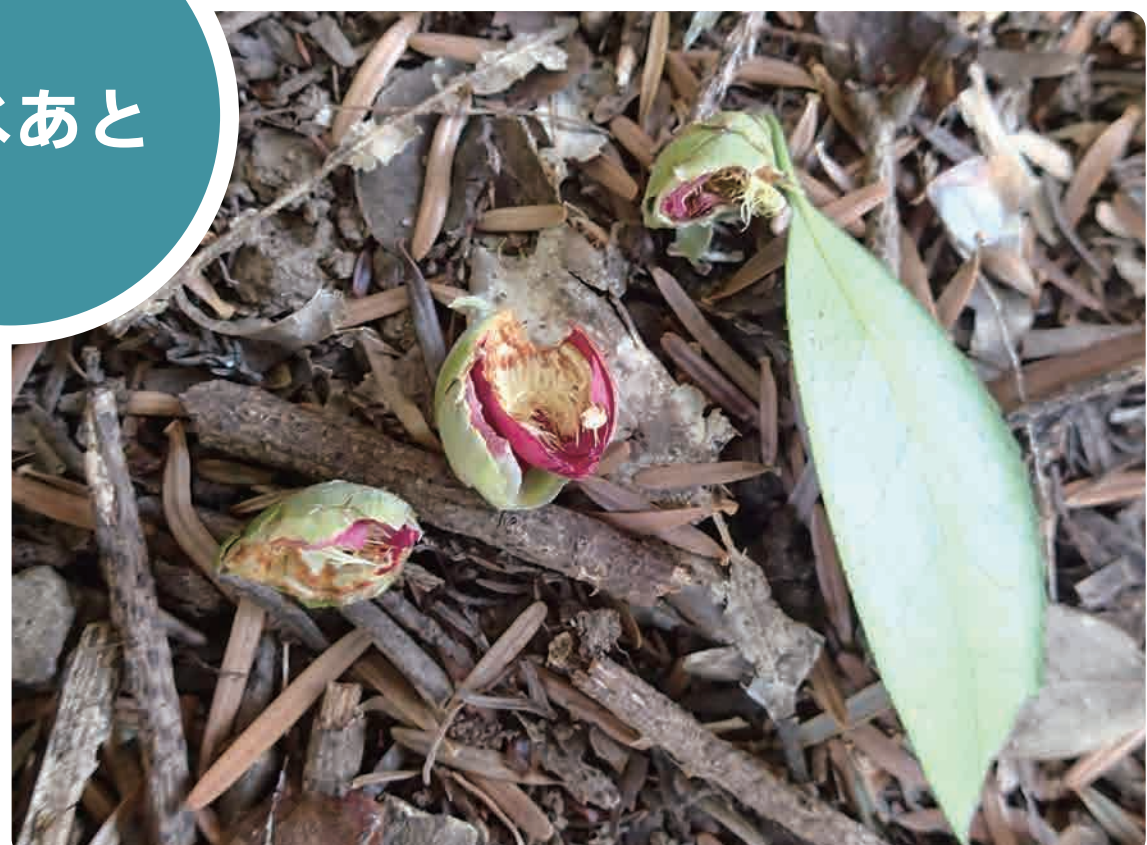
夜行性のムササビは日中は巣穴で過ごし、夜になると食べものを探して活動します。

巣穴



ムササビが使用しているケヤキの巣穴

食べあと



ヤブツバキの蕾



クヌギの葉



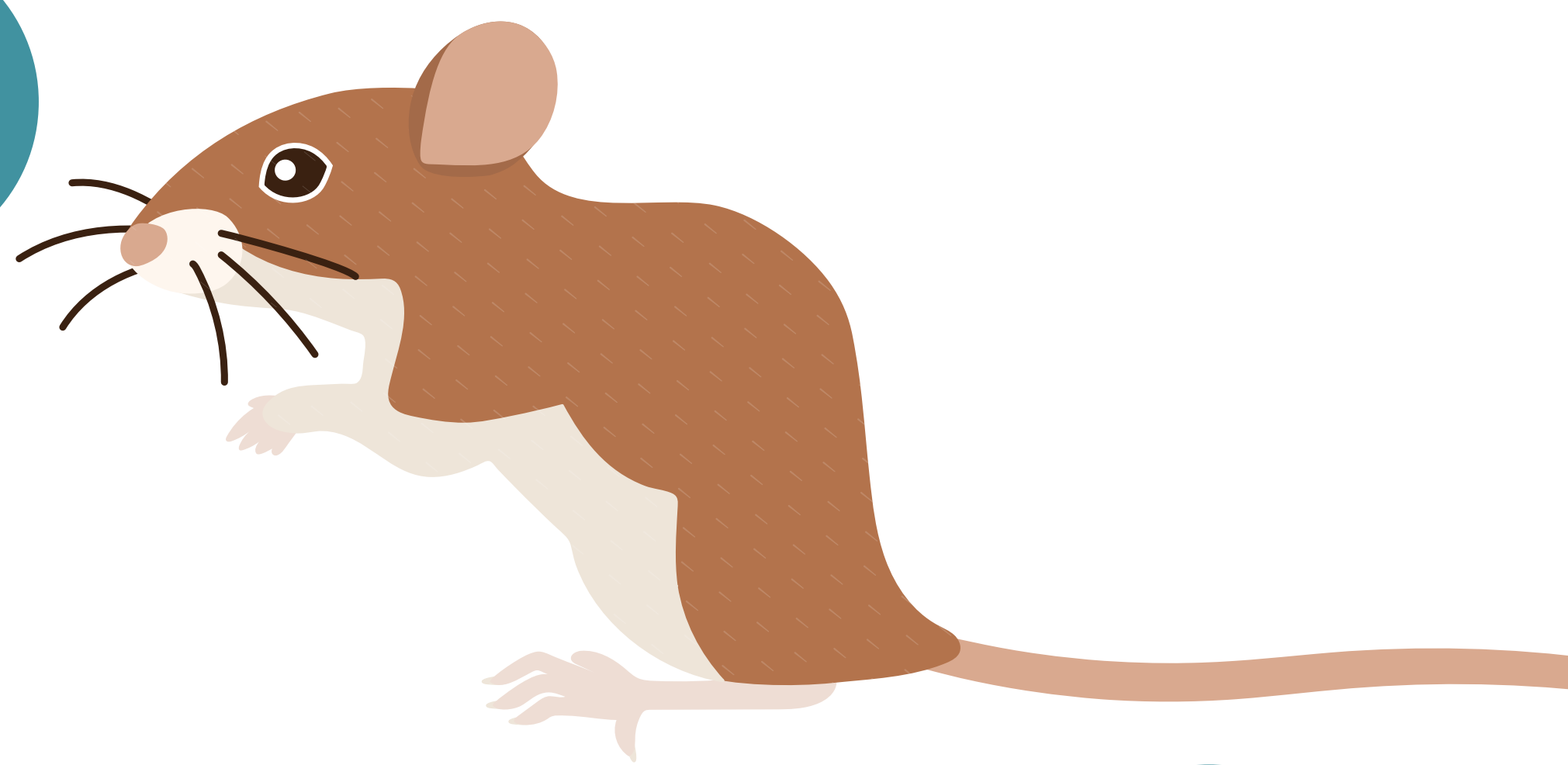
アカガシの葉

## アカネズミ

硬いクルミの殻に穴を開けて食べます。リスほど器用でないため、真っ二つには割れません。



くるみの  
食べあと



## ニホンリス

硬いクルミの殻をキレイに半分に割って中の実を食べます。殻はつなぎ目を器用に歯でかじり割れやすい状態にしてから割ります。

くるみの  
食べあと







## ホンドテン

人目に付きやすい道の真ん中や石の上などでフンをします。テンは小動物のほか、木の実も大好きで季節ごとに違った木の実を食べています。



フン

ためフン



## ホンドタヌキ

同じ場所にフンをする習性があり、1匹のタヌキだけでなく、家族や複数のタヌキも利用します。



## ニホンアナグマ

アナグマは足にある鋭いかぎ爪を使って、地下に巣穴を掘ります。巣穴の中は寝室やトイレなど複数の部屋があり、奥行き of 長さは 50m を超えることもあります。



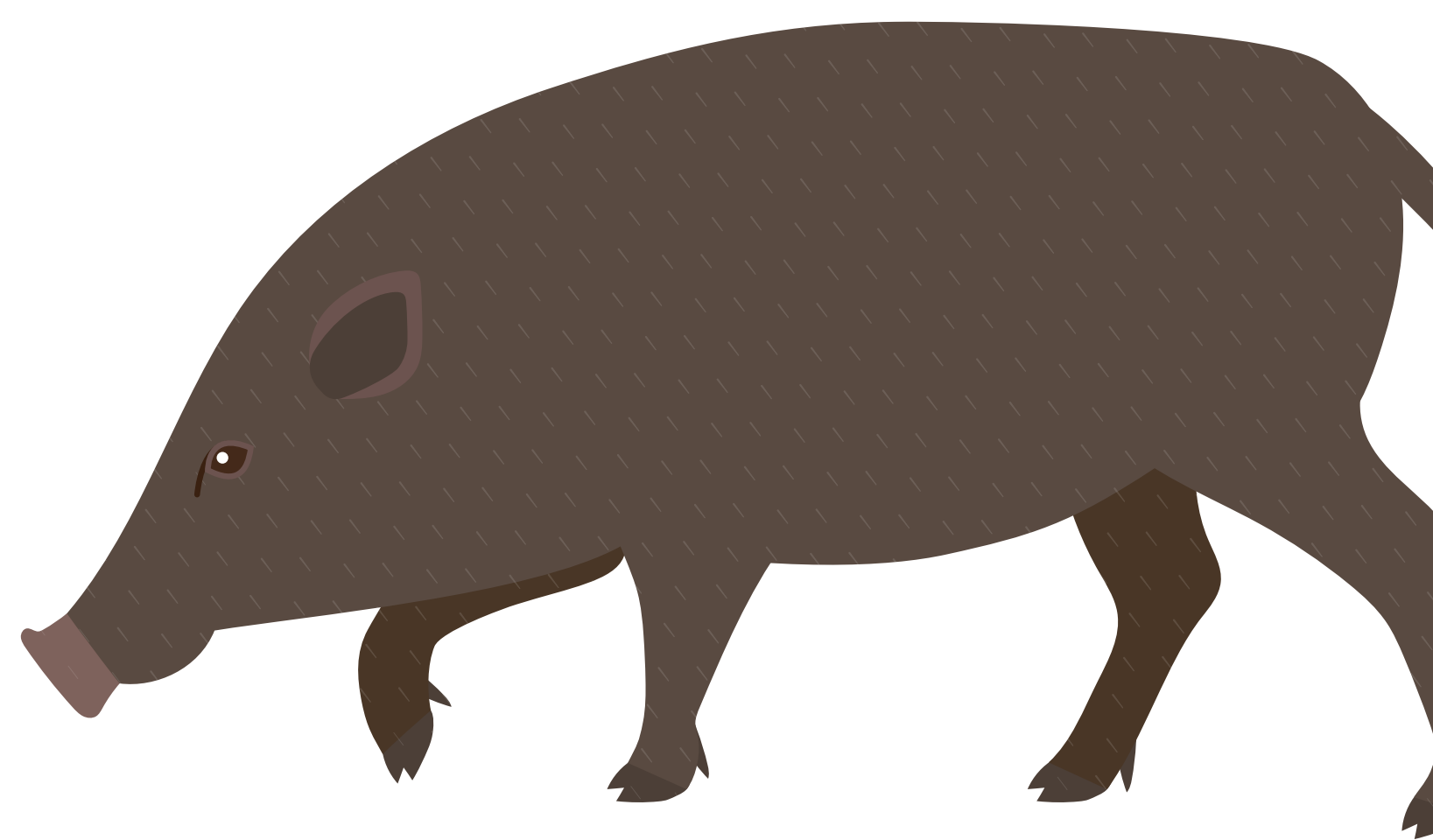
巣穴

掘りあと



## ニホンイノシシ

イノシシは地中にある植物の球根やミミズ、昆虫などが大好物です。山内に土をシャベルでほじくり返したような跡があったら、イノシシの仕業かもしれません。



## アズマモグラ

モグラは地下にトンネルを掘って、その中で暮らしています。トンネルを掘っている際は地上に不要な土を運び上げます。そうして積もった土が「モグラ塚」です。



モグラ塚



# 雪の日の 高尾山に残る 動物たちの足跡

乾いた地面で動物たちの足跡を探すことは大変難しいですが、雪が降った後は多くの動物たちの足跡が見られるチャンスです！足跡の形や歩き方の違いで、ある程度種類を特定することもできます。その時動物たちがどんな行動をとったのか、想像するのはとても楽しいです♪

## キツネ

縦に長く、真ん中 2 本の指が  
サイドの指より前に出る。



前足

後ろ足



進行方向 →

レア度 No.1!

細身のため、左右の足跡が一直線に並ぶ

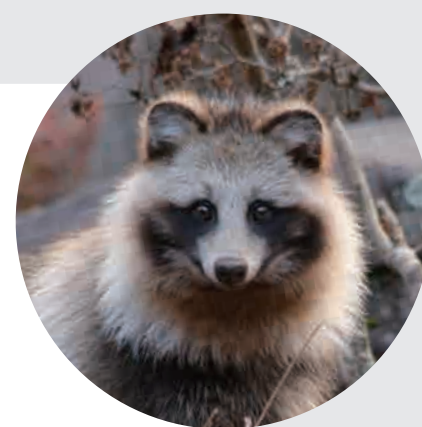
## タヌキ

キツネよりも縦に短い。ネコにも  
よく似るが、爪の跡がつきやすい。



前足

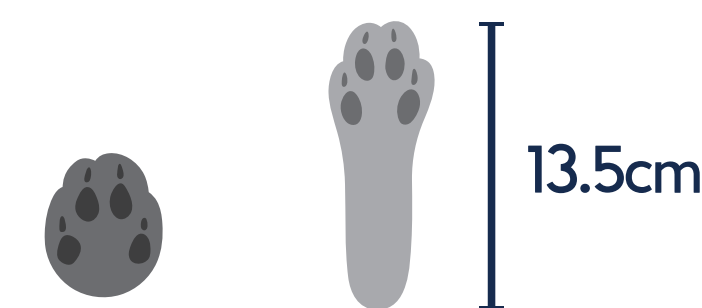
後ろ足



キツネより肩幅が広いので、歩き方がジグザグ

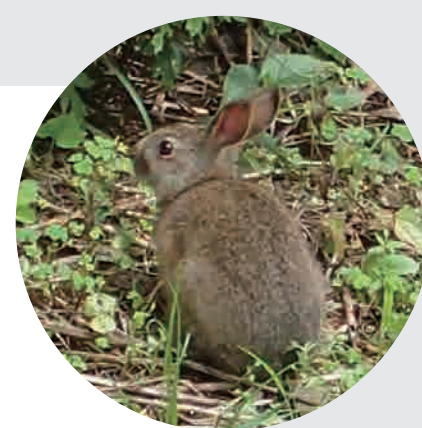
## ウサギ

ジャンプをするため前足より後  
足の方がかなり長い。



前足

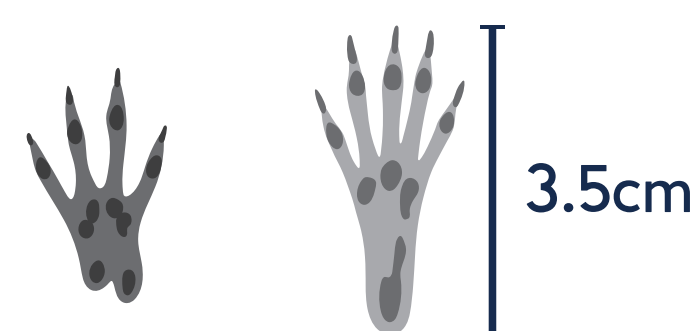
後ろ足



「ケンケンパッ」のリズムで足跡がつく

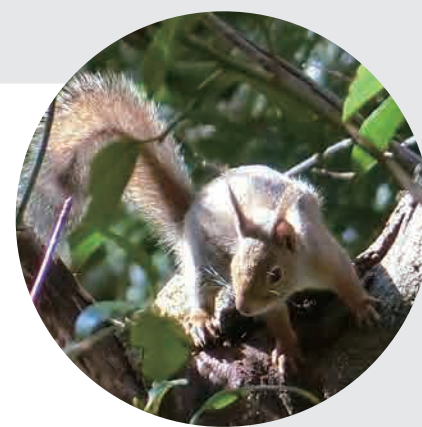
## リス

指の数は前足 4 本、後ろ足 5 本。  
前足より後足の方が長い。



前足

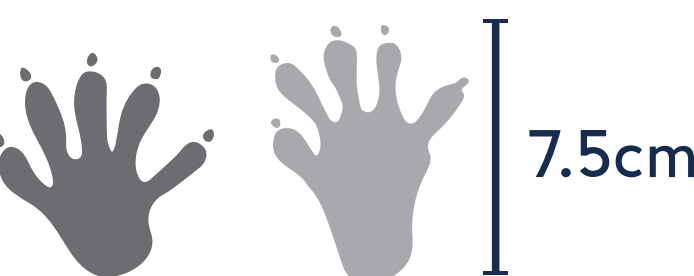
後ろ足



前足と後ろ足がそれぞれ横に並ぶ

## アライグマ

5 本の指がはっきりと残り、人間  
の手の形に似る。



前足

後ろ足



注目度 No.1!

タヌキに歩き方が似てジグザグ

### 外来種 アライグマ

北アメリカ原産の哺乳類。ペットや動物園での飼育・展示を目的に持ち込まれましたが、野外に逃げ出したり、飼い主が放したりして野生化し、全国的に増えています。高尾山でも足跡の確認をはじめ、センサーカメラに映ったり、実際に目撃されるなどしており、その数は増加傾向にあります。



撮影：里中遊歩(日本野生生物リサーチセンター)



# ビックリ！ 高尾山にもいる 意外な哺乳類 5 選

No.1



／ 小さな天然記念物 ／

## ヤマネ

ヤマネは木登り上手なネズミの仲間です。低山～亜高山帯にかけての森林に生息します。日本の天然記念物として指定されている貴重な動物です。

写真提供 | ひのはら放課後クラブ  
細貝和寛

No.2



／ ムササビじゃないよ！ ／

## ニホンモモンガ

生息地は高山帯を好む傾向があります。標高の低い高尾山に生息するということは、食料や住み家となる樹洞が多いためかもしれません。

No.3



／ 夜空を飛ぶ昆虫ハンター ／

## キクガシラコウモリ

全国的に市街地の河川にいるアブラコウモリの他にも、山地に生息する森林性のコウモリ（5種類）が実は高尾山で暮らしているのです。

No.4



／ 元・高山の代表動物 ／

## ニホンカモシカ

主に標高の高い山地で生息しますが、近年シカが高山帯に分布を広げた影響で餌場を奪われ、高尾山のような低山に姿を現わすようになりました。

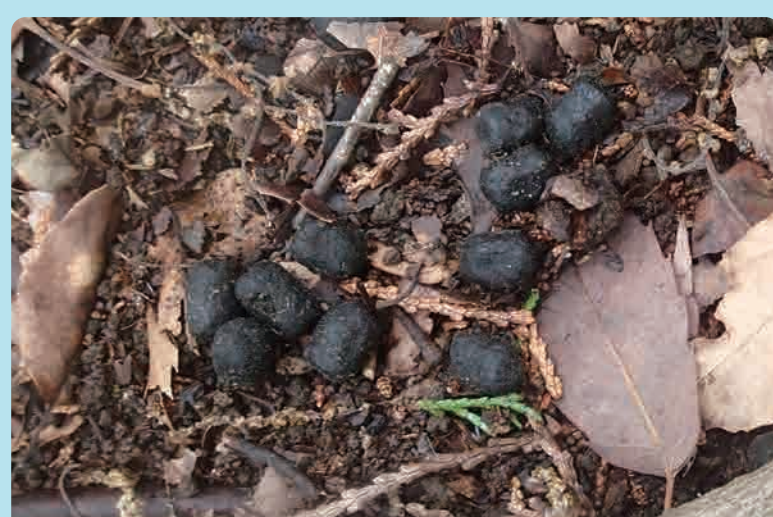
No.5

／ ここ数年で急増中... ／  
**ニホンジカ**

元々高尾山の周りには生息していなかった哺乳類なのですが、2013年頃から現在にかけて年々確認された数が増えています。植物の葉っぱや茎などを好んで食べるので、このまま数が増え続ければ高尾山の植物が減ってしまう可能性があります。



食べあと



フン



樹皮剥ぎあと



### 今後の対策

植物が食べられ過ぎてしまうことを防ぐには、「保護柵」というシカが飛び越えられないフェンスの設置が効果的とされています。また、食べあとやフンなどのフィールドサインを調査することで、現在のシカの増加傾向を調べることもとても重要です。高尾山を含めた多摩地域では、上記のシカ対策が東京都によって進められています。



気になる！

## 野生動物に関する

# Q & A

よく登山者の方より寄せられる質問にお答えします！

### Q. 高尾山にクマはいるの？

**A.** はい。高尾山周辺でも確認されています。

確認情報の多くは陣馬山方面を指す奥高尾や北高尾での情報です。そして、そのほとんどは登山道から外れた場所での確認であり、奥多摩などと比べれば生息数は少ないです。東京都レッドリスト（本土部）2020年版において、八王子市が該当する南多摩地域で絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）として評価されており、保護上重要な野生動物でもあります。



### Q. 1番よく見かける動物は？

**A.** アナグマです。

特に山頂付近では巣穴も多いためか、よく目撃されています。数メートルの距離にまで近づいてきて、ハッとこちらに気づき逃げる…といったシーンが多く、その鈍感さがなんとも愛らしいです。そして、かなりの高確率でタヌキと間違えられているので、ぜひこの機会に覚えてあげてくださいね♪



ニホンアナグマ

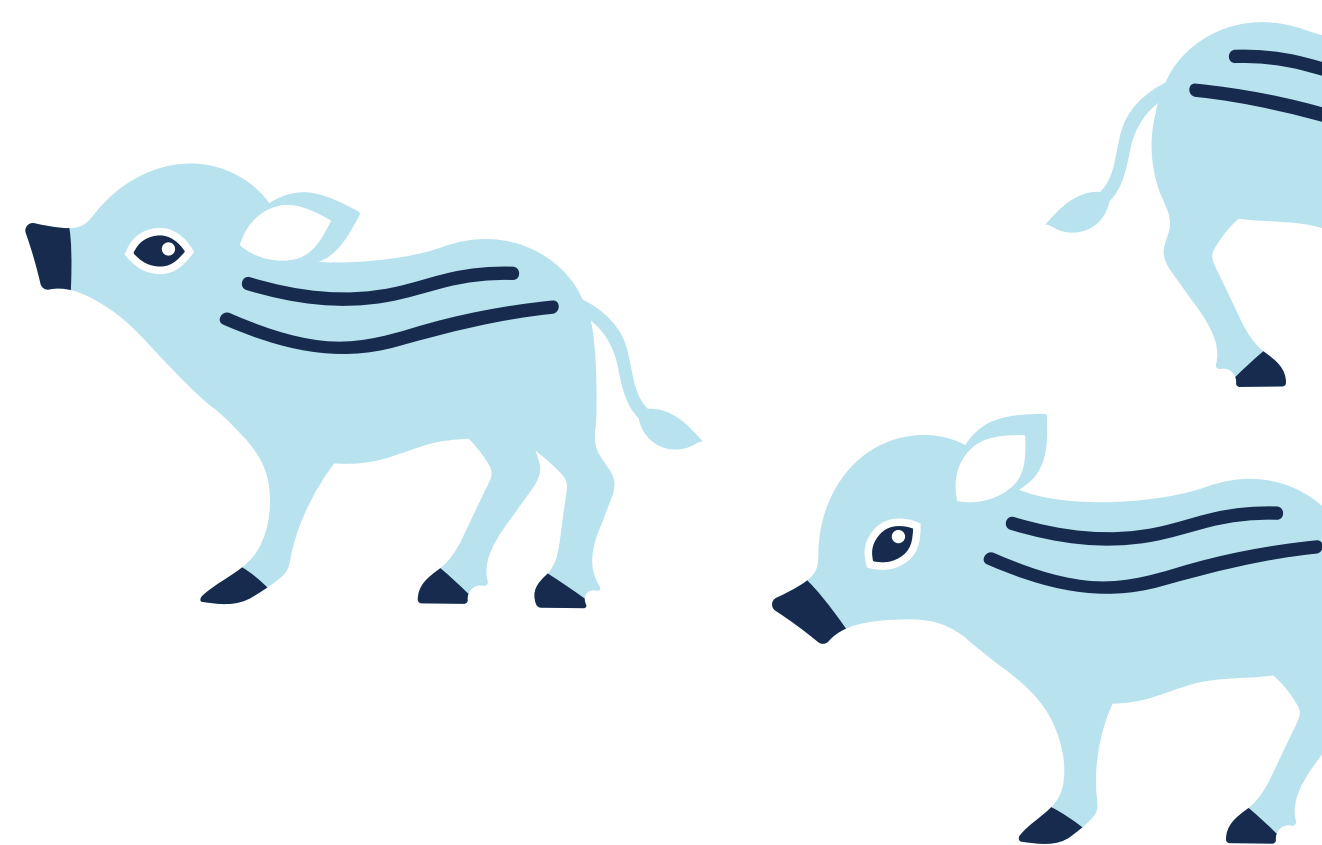


ホンドタヌキ

### Q. 野生動物の子供を見つけたが、どうすればいいの？

**A.** 何もせず、そのままに。

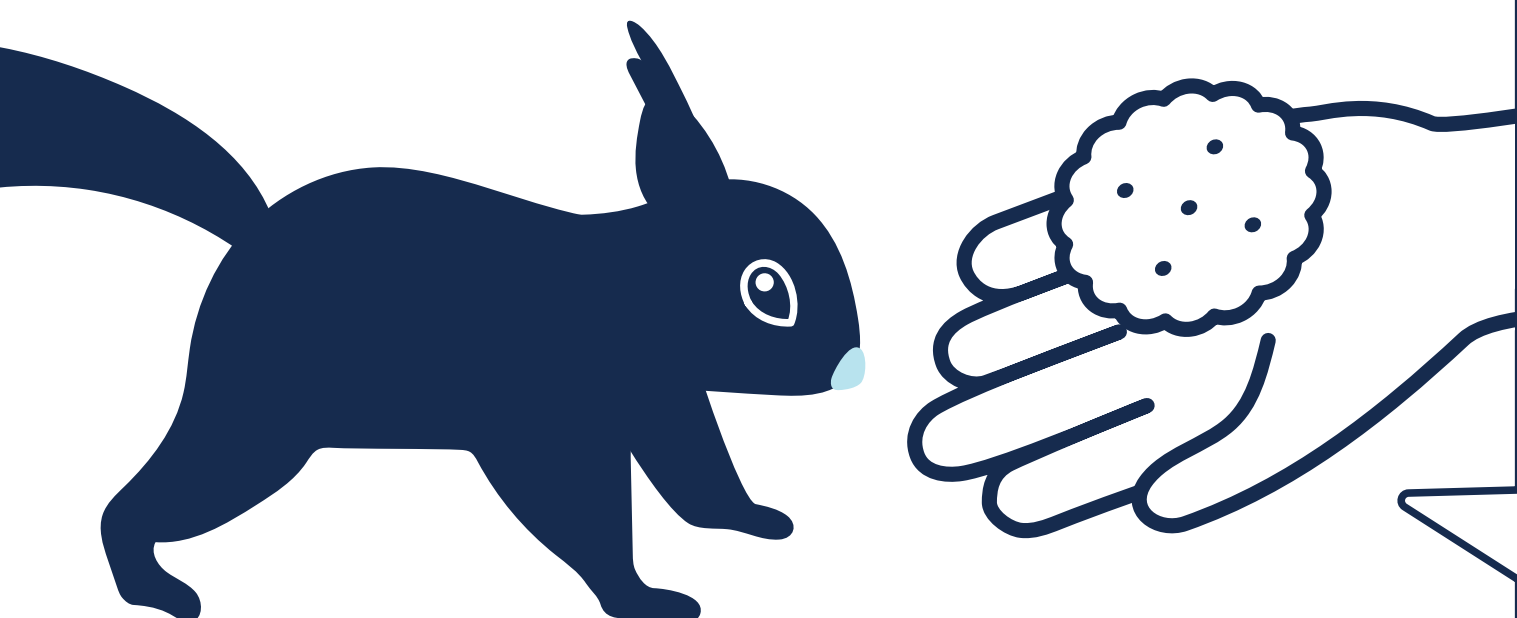
かわいそうに思えるかもしれませんが、自然のままの状態で見守ってあげるようにしましょう。何より、母親が戻ってくる可能性もありますので、触って人間の匂いをつけたり、移動させたりせずにそのままにしておくことが一番良いです。



### Q. 野生動物にエサをあげてもいいの？

**A.** いいえ。決してあげないようにしてください。

餌付けすることによって、高カロリーな人の食べものを食べ、ビタミンや食物繊維などが摂れず栄養のバランスが悪くなってしまいます。また、本来の自然界の食べ物を食べなくなったり、人の生活圏に頻繁に出てくるようになるなど、かえって動物たちの生活をおびやかすことに繋がってしまいます。





# 探してみよう！ 高尾山で見られる 動物たちのフィールドサイン

山内で特に見つけやすいフィールドサインをご紹介します。  
研究路を歩いて動物たちの残した痕跡を探しに出かけませんか？



## アナグマの巣穴

斜面や木の根元などに穴を掘ります。  
巣穴を見かけたら付近に爪あとや足跡がないか探してみましょう。



※写真の解説板より  
麓側へ25m歩いた山側



## タヌキのためフン

※ビジターセンター裏の階段



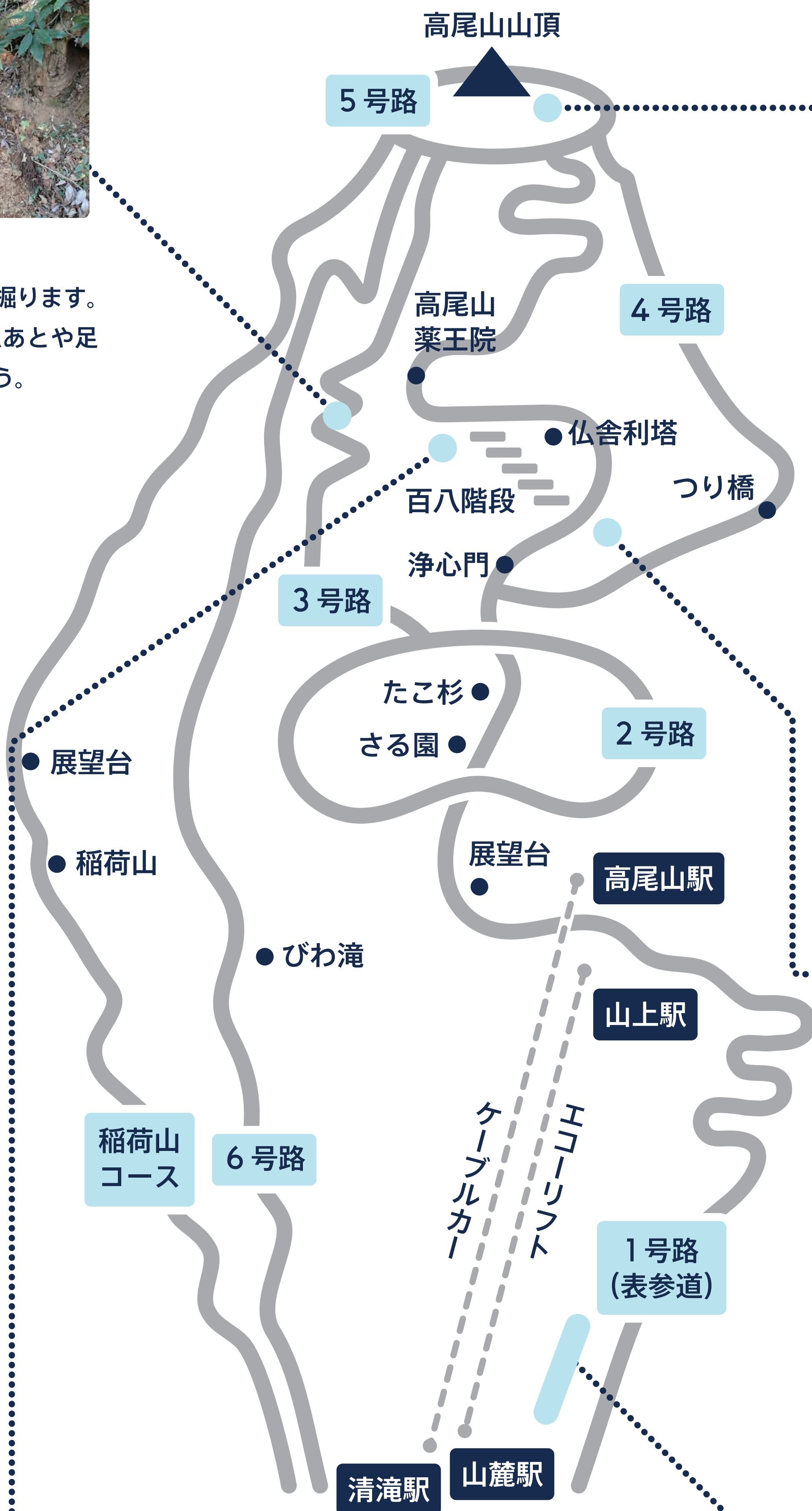
## ムササビの巣穴

ムササビが使用する巣穴の樹種はスギやケヤキ、サクラの木が多いです。穴は大人の拳程の大きさで、1号路沿いで複数箇所確認できます。

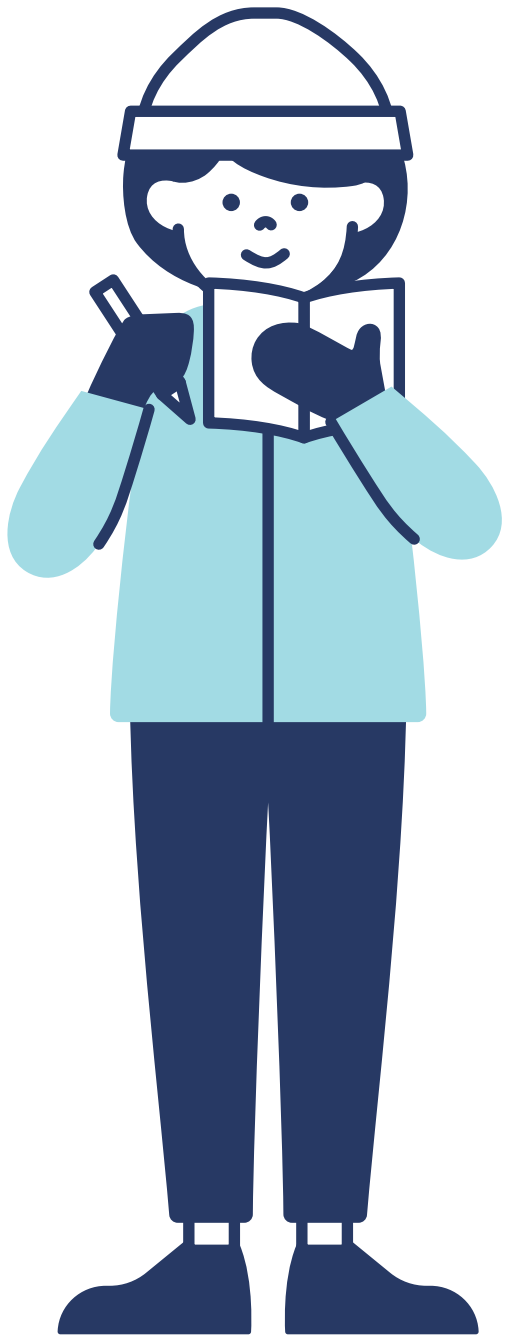


## ムササビの食痕

冬によく食べているのがアカガシの葉です。食べものが少ない冬の時期はこの場所でムササビの食べあとがよく見られます。



動物の行動を  
想像しながら  
探してみよう！



## キツネの足跡

めったに姿を見ることができないキツネですが、1号路の大杉並木周辺では、雪が降った後によく足跡が見つかります。

## けもの道

野生動物が通ることによって自然にできる山道です。1号路には山側から水辺に向かって歩いた様子がわかるけもの道がよく見られます。